

SDG s おおたスカイパートナー宣言書

(宛先)大田区長

私たちは、SDG s の内容を理解し、以下のとおり、大田区とともにSDG s の推進に取り組むことを宣言します。

<宣言日>2024年11月1日

事業者情報					
事業者名		学校法人 片柳学園			
代表者 職・氏名	職名	理事長			
	氏名	千葉 茂			
ホームページ URL (任意)		https://www.katayanagi.ac.jp/			
事業者ロゴ (任意)		 学校法人片柳学園			
事業者としての 2030 年のあるべき姿					
<p>SDG s の達成に向けて社会の課題解決に貢献できる人材育成の拠点となる。 グローバルな視点と倫理観を備えた人材の育成と、環境負荷の低減、ダイバーシティ推進、地域貢献を通じて持続可能な社会の実現を目指す。</p>					
これまでに取り組んでいる・これから取り組みたいSDG s 17のゴール・目標（複数選択可） （これまでに取り組んでいるゴール・目標：○ これから取り組みたいゴール・目標：●）					
 1 貧困をなくそう	 2 飢餓をゼロに	 3 すべての人に健康と福祉を	 4 質の高い教育をみんなに	 5 ジェンダー平等を實現しよう	 6 安全な水とトイレを世界中に
		○ ●	○ ●	○ ●	
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	 8 働きがいも経済成長も	 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	 10 人や国の不平等をなくそう	 11 住み続けられるまちづくりを	 12 つくる責任 つかう責任
○ ●				○ ●	○ ●
 13 気候変動に具体的な対策を	 14 海の豊かさを守ろう	 15 陸の豊かさも守ろう	 16 平和と公正をすべての人に	 17 パートナリシップで目標を達成しよう	

目標の達成に向けた取組内容等		
関連するゴールの数字を記入 (複数記入可)	これまでの取組内容	これからの取組内容
4	経済的理由で就学が困難な学生に対する返済不要で日本工学院専門学校独自の奨学金「若きつくりびと奨学金」を給付	今後も継続して実施予定
4	企業のニーズに応じた学習・技術の習得「専門力」と、社会や企業で貢献できる「人間力」の育成	さらに広く社会に貢献する豊かな人材を輩出するための新学部・新学科の設置
7	省エネルギー推進委員会の設置および身近な取り組みによる電力使用量の削減	教職員、学生の当事者意識の向上、「費用の発生しないアクション」を継続しながら「費用の発生するアクション」の導入検討、「カーボンニュートラル」にむけた計画と目標の策定
5	性的マイノリティの方も気兼ねなく使える「だれでもトイレ」の設置	今後も継続して実施予定
3・12	日本工学院専門学校における産官学連携授業「食品ロスの解決策を考える」や「メンタルヘルス」「依存症支援」「出所者支援」スタディツアーの実施など	今後も継続して実施予定
11・12	東京工科大学における「地域観光プロジェクト」の実施、地域資源の継承と持続可能なコミュニティのデザイン研究など	今後も継続して実施予定
3	ヘルスケアの未来を見据え、デジタル技術を駆使して人々の生活の質の向上を目指すための「デジタルヘルス・イノベーションセンター」を東京工科大学に設立	今後も継続して実施予定